シアトル別院時報

32巻11月号

2013年度教化標語
真実明に帰命せよ

天女と舎利弗

新井俊一師

『維摩経』というお経がありますが、次に書くのはその中に現れる私の好きな話です。この経は維摩居士というヴァイシャーリーの在家の仏弟子を中心に展開します。この人は釈尊の十大弟子をも凌ぐ大乗の悟りを得た人でした。ある日、仏法を伝えることを目的として病気になったふりをします。釈尊がお見舞いに文殊菩薩を送りますが、二人の会話を聞こうと、十大弟子はもちろん、さまざまな菩薩たちが文殊菩薩とともに維摩居士を訪問します。

二人が深い法談を繰り広げている間に、天女が維摩居士の智慧に感嘆して、天から美しい花を降らせます。花は煩悩を解脱した菩薩たちの身体から落ちますが、十大弟子たちの身体には着いて離れません。舎利弗尊者が自分の身体について花を取ろうとしていると、天女がなぜそんなことをするのか、と聞きます。舎利弗は「天女よ、この花は出家の身にはふさわしくないからです」と言うと、天女は「尊者よ、そんなことを言ってはなりません。花は考えたり分別したりしないのに、尊者が思慮に分別しているから、花が落ちないのです」と言いました。

舎利弗が天女に「天女よ、どうしてあなたは女であることをやめて、男になろうと思わないのですか」と聞きます。天女は「私はずっと女であることを探し求めてきたが、今だにそれがかなえられません。すべての存在は変化の途上にあり、恒常の身体というものはありません。女とは何でしょうか？男とは何でしょうか?」そういって、天女は神通力を使って舎利弗を天女そっくりの姿に、自分を舎利弗そっくりの姿に変えてしまいます。舎利弗が混乱していると、天女が「あなたが女の姿を取ったように、女も女の姿を取ったのです。女は根本的には女ではないのですが、仮に女の姿で現れたのです。だから釈尊は、すべての人間は女でも男でもない、と教えられた

11 月の予定

1 日（金）日本語セミナー
　9 時 45 分―3 時 45 分
　IMOP の先生方と桑原浄信師
3 日（日）10 時　永代経無縁法要　お稚児
10 日（日）10 時　家族法要
　10 時 45 分　日本語プログラム
11 日（月）ベテランズデイ事務所休み
17 日（日）10 時　家族法要
　10 時 15 分　BCA ビデオ鑑賞
　日本語プログラムなし
24 日（日）10 時　家族法要
　10 時 45 分　日本語プログラム
28・29 日感謝祭　事務所休み

7 日（木）1 時半　日系マナー法要
21 日（木）1 時半　日系マナー法要
26 日（火）10 時半　敬老ホーム法要

のです」と言いました。天女が神通力を使うのをやめると、二人はもとの姿に戻りました。「尊者よ、あなたが今取っていた女の姿はどこへ行ったのでしょう?」と天女。「私は女であったことはないし、また変わったわけではありません」と舎利弗。「同じように、すべての存在は造られることも変わることもない、と釈尊がおっしゃいました」と天女。

この話はもっと込み入っていて、私自身も理解したとは言えませんが、今引用した部分について言うと、男・女、聖・濁、善・悪などの区別（差別）は私たちの執着と計らいの産物であるということです。私たちは自然の成り行きで仮に男とか女とかに生まれていますが、悟った人はこのような二元的で差別的な考えから自由になっている、ということでしょう。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。

今秋の予定

11 月 1 日（金）日本語セミナー　9 時 45 分—3 時 45 分　（時間変更）
浄土真宗センターの国際伝道者養成プログラムの先生方々4 名が桑原浄信先生とシアトルを訪問されセミナーを開いてくださいます。またとない機会ですので皆さんぜひご出席ください。10 ドル。詳細は事務所にて。

11 月 3 日（日）日本語法要　10 時 45 分　ご法話　桑原浄信師　浄土真宗センター

11 月 17 日（日）10 時　家族法要にて BCA の歴史ビデオ“Stream of Light”を 10 時 15 分より観賞します。フィルムが長引くようなので日本語プログラムはありません。このビデオはとても興味深いフィルムですので皆さんぜひご出席ください。

オライオン・センター
エンターテイメントブックを買って下さった方々に大変感謝します。94 冊のブックを売り基金が 1200 ドルになりました。この基金で毎月のオライオン・ハウスの食事代をまかなっております。
10 月の食事の世話をレオノラ・クラークにしてもらいました。彼女の他にキャサリン・リガー—ハモンド、デードリア・ダニロブ、森久保マイケル、森久保キャレン、森久保ゆきお、エレン・タンが奉仕しました。献立はチリ、コーン・ブレッド、サラダ、アップル、ブラウニー。
2014 年も毎月の奉仕チームが必要です。ぜひ経験してみて下さい。
ボランティアなどの詳細は寺本マイクまで.

クレジット・カード使用について
シアトル別院では会員の会費などの費用を 9 月８日よりクレジット・カードで払える様になりました。これはこの方法がいかに効果的であるかのテストです。手数料は加算されません。この期間の後で評価して、後には加算されるかもしれません。
１、カードはスワイプが必要です。電話やイーメールでは使えません。
２、カードは事務所にて月曜一木曜と日曜 10 時—12 時に限られます。
３、レシートはありません。カードのステートメントに Seattle Buddhist church　とでます。
　　イーメールに限りレシートがおくられます。
４、事務所にサインできる用紙があります。寄付などはこの用紙に書き込んで下さい。
５、マスターカード、ビザ、アメリカン・エックスプレス、ディスカバーが使えます。
６、Flagship Merchant Services　という会社を通していて安全です。
機会が一台しかないので不便ですがご辛抱願います。

会員部より
別院維持会会員の年度会費は 70 才以上は$250（＄500 ご夫妻）、70 才以下は$300（＄600 ご夫妻）です。これは別院の維持に対しての最低額になります。分割でも払えます、事務所までお申し出下さい。今年分の会費をお支払いになった方のお名前が英語文にあります。

婦人会便り

会長のメッセージ　　馬場ジャネット

秋季女性のセミナー：１０月１９日（土）シアトル別院にて、第二回目の仏教における女性のセミナーが「利他の心」と題して、臼杵パテー師、西山真理子師、そしてかすみなおみ準教授方々が約８５名の参加者に各々の体験を通して心温まるお話を提供して下さいました。又、みどり高木準教授は九条武子夫人の生涯について、お話しをして下さいました。

恵信尼公/覚信尼公顕彰法要：１０月２０日（日）の法要には、臼杵パテー師が英語で、西山真理子師が日本語で夫々感動あるお話しをして下さいました。恵信尼様は親鸞聖人と苦難を共にされ、念仏伝道のお手伝いをされました。又、覚信尼様は私達の本願寺の礎を築いて下さいました。

総会/慰労会：１１月１７日（日）午前１１時４５分に恒例の総会が有ります。２０１３年度の活動報告、会計報告、そして２０１４年並びに２０１５年度の役員の紹介。会員の皆様総会に是非ご出席下さい。引き続きご活躍頂いた２０１３年度の理事並びに名誉理事方々の慰労会が持たれます。

婦人会クラフト級：来年のお盆踊りクラフト・セールの為に活動部はクラフトの準備をしており、子供達の腕輪（指導者、山口フミ）と Fimo clay のコケシ人形（指導者、西―ワング・リアン）は、既に完成。華麗な日本生地でお盆踊りの為の法被コートも作成の予定。古着の、浴衣、帯、サッシ、髪飾り、や法被コートを求めております。中村ジューデスか清水ダーリーンに連絡をして下さい。

護持会五十周年祝賀会：梅津総長をご講師に、カストロ輪番と共に１３名の会員が集まられてお祝いをし、佐久間ポーリーンと中野ジョーンが別院オフイスより、そして馬場ジャネットと新保エツが婦人会より夫々出席しました。

白河仏教会婦人会百周年祝賀会：**９月２６日**、別院よりカストロ輪番、婦人会より馬場ジャネットと加藤ジョイスがお祝いに出席。又、婦人会会員の高島キヨ、グローブス扶美、西―ワング・リアンも出席しました。

オライオンセンター：オライオンセンターのユースケアーでは来る冬に控えて寝袋、新しい靴下、コートや雨具用のコート、手を温める物、帽子と手袋等を求めております。これらの品物は婦人会会議の際に持参、又は事務所の中野ジョーンに連絡をして下さい。次回の夕食提供予定は２０１４年２月２１日。お手伝い希望者は馬場ジャネットに連絡を。

１１月行事予定

３（日）	婦人会理事会―役員選挙	
１０（日）	婦人会役員会	
１７（日）	婦人会総会/慰労会	
２４（日）	婦人会理事会（１２月分）	通信書記（日）新保エツ提出

SBBWA Attendees at White River BWA's Centennial Celebration: Joyce Kato, Janet Baba, Fumi Groves, Leanne Nishi-Wong and Kiyo Takashima with Rinban Don Castro

Celebrating Gojikai's 50th Anniversary, 1964-2014:Norigiku Horikawa, Rinban Don Castro, Bishop Kodo Umezu, Jack Matsui, Shogo Kusumi and Yukio Morikubo.

後記

梅津先生が 10 月始めの週末にシアトルにお越しくださり金曜日午後日本語のセミナーを開いて下さいました。飛行機が遅れて降りてすぐにお寺へ、律子さんたちの心のこもったランチのあとさっそくセミナー開始。先生のご講話はわかりやすくてみなさんリラックスして楽しまれました。そのあとは皆で頂いたまつたけスキヤキを楽しみました。お世話になったえつさん、あいこさん、律子さん、絹江さん他、ありがとうございました。

10 月中旬には「女性のセミナー」が開かれ 90 名近くが参加、うち男性 7 名。ポートランド、スポーケン、バークレイからも参加してくださいました。ご講師は南加の臼杵パティー師、ハワイの西山真理子師とシアトル大学のかすみなおみ準教授がそれぞれ興味有るセッションをしてくださいました。西山先生には日本語でご講話「利他のこころ」についてくわしくご説明頂きました。また日曜日にもご法話を頂きすばらしい週末でした。セミナーにはおおくの会費以外のご寄付も頂きました。

セミナー委員会会長の後藤アイリーンおよび会員は皆様のご協力・ご奉仕に感謝します。カストロ輪番、川原律子、森久保ゆきお・キャレン、馬場ジャネット、加藤ジョイス、八幡しずえ、藤井藹子、中野ジョーン、星野アラン、加藤エド、須黒ノリ、谷口あき、ゲール・ソデット、高島きよ、桑原絹江、山崎メイ。他にもお手伝いありがとうございました。